NIE実践報告

1．タイトル：☆新聞を教科等の学習を深めていくためにどう活用していくか

2．学校名

長野県長野市立吉田小学校

3．実践者名（代表者名）

相澤　裕子

4．学年

第3学年

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

社会科　　38人

6．単元（本時の学習課題）名

りんごをつくる仕事

7．目標(狙い)

①リンゴ農家の仕事について知り、農家の人の仕事の工夫や思いがわかる。

8．評価の視点

（1）実際に自分たちでりんごを育てたり、農家の人の話を聞く中で、農家の人の工夫やりんご作りへの思いがわかる。（2）学習を深めてきたことを生かし、新聞にまとめることができる。

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数
（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

「人々のくらしとわたしたちのくらし」の中の「農家の仕事」18時間

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

①学級遠足「浅川の一番上まで行ってみよう」で見た北郷地区のりんご畑と4組のりんごの木と違うところを発見しよう（1時間目）
・「総合的な学習の時間」の中でクラスでりんごづくりに取り組んできた。
②りんごのプロ、りんご農家に行って聞いてこよう。（1時間）
③りんご農家中島さんのりんごの育て方と4組のりんご育て方の違いをまとめよう。（5時間）
・日本農業新聞の「りんごの葉摘」の記事を資料として扱う。
④まとめの中から出てきた疑問についてみんなで考え合おう。（2時間）
⑤中島さんの自分たちが勉強したことについてお手紙を書こう。（1時間）
⑥中島さんのりんごをつくる仕事について工夫していること、すごいなあ、さすがプロだなぁと思ったことを新聞にまとめて家の人に伝えよう。（8時間）

11．児童・生徒の反応、感想・意見

「(家の人向けへの新聞づくりにあたって）リンゴ農家の中島さんはただ作るのではなく、何年もりんごをつくってその技でりんごをおいしくしたいという（中島さんの）気持ちを家の人に伝えたい」→リンゴ作りへの意欲が高まった。

12．成果と課題

子どもたちは、自分が伝えたいテーマを持って新聞を書くということができた。内容をしっかりと理解していること、伝えたいという気持ちを持っていることによってはじめて、子どもたちは新聞やポスターを書くことに対して意欲がわき、書き方の工夫も生まれてくるということを感じた。また、保護者の方に伝えるというねらいで書かせたことも良かった。読んだ保護者からの反応がすぐにくるため、それが次の新聞づくり活動への意欲につながる。